

讃美歌 30 番 『あさかぜしずかにふきて』

あさかぜしずかにふきて、
小鳥もめさむるとき、
きよけき朝よりきよく、
うかぶは神のおもい。

ゆかしき神のおもいに
とけゆくわがころは、
つゆけき朝のいぶきに
いきづく野べの花か。

かがやくとこ世のあした、
わがたまめさむるとき、
この世の朝よりきよく
あおぎみん神のみかお。

1.
Still, still with Thee, when purple morning breaketh,
When the bird waketh, and the shadows flee;
Fairer than morning, lovelier than daylight,
Dawns the sweet consciousness, I am with Thee.

2.
Alone with Thee, amid the mystic shadows,
The solemn hush of nature newly born;
Alone with Thee in breathless adoration,
In the calm dew and freshness of the morn.

3.
As in the dawning o'er the waveless ocean
The image of the morning star doth rest,
So in the stillness Thou beholdest only
Thine image in the waters of my breast.

4.
Still, still with Thee, as to each newborn morning,
A fresh and solemn splendor still is given,
So does this blessed consciousness, awaking,
Breathe each day nearness unto Thee and Heaven.

5.
When sinks the soul, subdued by toil, to slumber,
Its closing eye looks up to Thee in prayer;
Sweet the repose beneath the wings o'ershading,
But sweeter still to wake and find Thee there.

6.
So shall it be at last, in that bright morning,
When the soul waketh and life's shadows flee;
O in that hour, fairer than daylight dawning,
Shall rise the glorious thought, I am with Thee.

出典

<https://barryshymns.blogspot.com/2017/07/still-still-with-thee.html>

1.
なおも、なおも、私はあなたと共にいます、
赤紫色に夜が明け小鳥が目覚め、闇が逃げ去る時、
朝より麗しく日の光より愛らしい、甘美な思いが、
明け初めます。私はあなたと共にいますと。

2.
あなたと二人きり、神秘的な影の中で、
新しく生まれた自然の荘厳な静寂の中で、
あなたと二人きり、息が止まらんばかりに拝します、
朝の穏やかな露のしずくと爽やかさの中で。

3.
夜明けの さざ波ひとつない海に、
明けの明星の姿がとどまるように、
静寂の中で あなたはご覧になります、
あなたの御姿だけを 私の息遣いの湖の中に。

4.
なおも、なおも、あなたと共にいます、
朝が明ける毎に、新鮮で荘厳な静けさがある如く、
この祝福された思いが目覚めます、
毎日、あなたと御国の近きを生きている。

5.
労苦に疲れて、魂がまどろむ時、
閉じた目はあなたを仰ぎ見ます、祈りながら、
あなたのみ翼の陰で休むことは心地良いですが、
目覚めてあなたを見いだすのはなおいっそう甘美です。

6.
あの輝かしい朝に、ついに実現します、
魂が目覚めて、人生の影が消える時、
その時、夜明けよりも麗しく、
栄誉に満ちた思いが輝き昇ります、
「私はあなたと共にいます」

岡本による拙訳